

補助事業番号 2022M-160
補助事業名 2022年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 鹿児島県

1 補助事業の概要

鹿児島県工業技術センターでは、「企業ニーズに基づく技術支援」、「技術シーズの橋渡しによる県内産業の振興」、「多様な連携によるものづくり支援」を業務の柱として県内企業の工業技術に関する支援機関として取組行っている。ものづくり技術に関する設備を整備拡充することにより、積極的な試験研究と技術支援を実施するとともに、業界に機器を解放して活用の促進を図り、本県ものづくり企業の技術の向上と振興に寄与するため、以下の機器を導入した。

- (1) 表面粗さ測定機
- (2) イオンクロマトグラフ
- (3) 微量全窒素・硫黄分析装置

2 予想される事業実施効果

機器の導入により、県内のものづくり関連の企業への技術支援とともに、試験研究業務にも利用できる。企業への技術支援や共同研究等に活用することで、県内企業の技術力が向上し、優れた製品開発が可能となり、ひいては県内のものづくり関連産業の活性化が期待できる。

3 本事業により導入した設備

① (1) 表面粗さ測定機

(<https://www.kagoshima-it.go.jp/kit2021/guide/setsubi/jka/r4arasa/>)

接触子で測定物の表面を直接触れ、粗さ（細かな凹凸具合）やうねり（大きな凹凸状態）を評価する測定機です。測定物の傷や反り、機械加工面の評価に活用できます。



表面粗さ測定機

設置場所：【鹿児島県工業技術センター精密測定室】

(2) イオンクロマトグラフ

(<https://www.kagoshima-it.go.jp/kit2021/guide/setsubi/jka/r4ionchro/>)

液体燃料水中の陽イオン、陰イオンを定量する装置です。食料品ならびに飲料水、工業用水・排水の試験や環境検査等、幅広い用途に用いられる分析機器です。



イオンクロマトグラフ

設置場所：【鹿児島県工業技術センター第5機器分析室】

(3) 微量全窒素・硫黄分析装置

(<https://www.kagoshima-it.go.jp/kit2021/guide/setsubi/jka/r4zenchisso/>)

液体中や固体中に含まれている窒素や硫黄の量を測定する機器です。液体燃料や固体燃料をはじめ、様々な試料中に含まれる窒素分や硫黄分を高感度で同時に測定することができます。



微量全窒素・硫黄分析装置

設置場所：【鹿児島県工業技術センター第2機器分析室】

②本事業に係る印刷物等

なし（令和5年4月発行の「鹿工技ニュース No. 141」および令和4年度鹿児島県工業技術センター年報等に掲載予定）

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 鹿児島県工業技術センター（カゴシマケンコウギョウギジュツセンター）

住所： 〒899-5105

鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1

代表者： 所長 久保 敦（クボ アツシ）

担当部署： 生産技術部（セイサンギジュツブ）

食品・化学部（ショクヒン・カガクブ）

担当者名： 生産技術部長 牟禮 雄二（ムレ ユウジ）

食品・化学部長 安藤 義則（アンドウ ヨシノリ）

電話番号： 0995-43-5111

F A X： 0995-64-2111

E-mail： kikaku@kagoshima-it.go.jp

U R L： <https://www.kagoshima-it.go.jp>